

村上 篁技官 諫早市市政功労者表彰を受ける

清 島 信 之 (九州出張所)

長崎県諫早市では市政行事として 毎年各分野における市政功労者を表彰しているが 53年度は当所九州出張所の村上 篁技官が市政功労者として表彰されたのでその内容の概要を紹介する。

業績 諫早・北高地区の水理地質の研究

諫早市を中心とする北高来郡高来町・小長井町・森山町・飯盛町は 諫早・北高地域総合開発振興協議会をつくり 地域開発に努力しているが その一環として 地下水賦存状況の解明の重要性に着目してきた。村上技官は 昭和46年より当地区における水理地質の研究に取り組んでおり その成果は地質調査所発行の 日本水理地質図No. 26「長崎県諫早・北高地区水理地質図」として昭和53年に公表されている。

諫早・北高地区は 山地(多良火山)がほとんど海岸近くにまで迫り 山地を流下した本明川の河口付近(旧干拓地域) 以外には平地に乏しい。地先地区の地下は村上技官の調査結果によれば 水盆地形が推定されるので相当量の地下水が賦存するものと考えられるが この地区には上部に30m前後の有明粘土層が分布するため地盤沈下現象を起こすおそれがある。諫早市の水道水源はほとんど地下水に依存し従来は断層によってできた 小さいながら良好な水盆地から取水していたが 近年は



村上 篁 技 官

取水オーバーのため地下水低下を来たしている。

諫早市も都市の近代化および中核工業団地等の造成長崎市のベッドタウン化による上水道利用の増加は著しく上水道水源対策が緊急課題としてとり挙げられている。村上技官は 市水道局の諮問に依って 同技官が長年蓄積した豊富な資料に基づいて さく井計画の指導にあずかった。水道水源掘さくに当り 近年低地域におけるさく井は難かしくなり 山間部に求めざるを得なくなっているが 同技官は深部電気探査の結果等に基づいて

さく井地点選定について指導を行い 良好な成果を上げている。

以上のように 地下水資源確保の面での村上技官の地域開発に対する貢献は長崎県のように水資源に乏しい地域においては 今回の市政功労者表彰にみられるように 非常に高く評価されている。

(編者 注 村上技官は去る12月1日付で退職されました)



村上技官がうけた表彰状と記念品